



平成 28 年 1 月 23 日(土)

## のしろまち灯り ～ろうそく・凧絵灯ろう作り 編

1 月 23 日(土)能代市子ども館において、市内小学生や幼稚園児などが参加し、2 月 13 日(土)開催「第 17 回ののしろまち灯り」で点灯する「ろうそく」・「凧絵灯ろう」作りを行いました。

能代市子ども館の浅野さんから赤い風船をろうそくの炎に見立てて静電気実験を交えた話をいただき、のしろ白神 NW 能登会長からの「のしろまち灯り」の話のあと、ろうそく作りからスタートしました。

このろうそくは、学校給食の調理に使用した油などの廃食用油を利用して作る、エコなろうそくです。油を 80℃ まで熱して凝固剤(固めるテンプル)を溶かし、アルミカップに入れてろうそくの芯をつけ、冷まして固ったら完成です。温めた油の温度を子供達が温度計を見ながら「まだ 30℃」、しばらくして「80℃ になった!」と実況してくれました。やけどしないようアルミカップには手を触れずに、おたまで油を流し入れ、ろうそくの芯が真ん中になるように置いて作りました。

次に凧絵灯ろう作りに挑戦。男べらぼう、女べらぼうなど能代凧の絵柄が下書きされた和紙の中から好きなものを 1 枚選んで、飾られている見本の能代凧を見ながら色つけをしました。保護者のお父さん、お母さん達も一緒に色を確認しながら、真剣に作業していました。子供達も丁寧に色づけしていて、その出来映えに感心!色つけした絵を乾かしてから、灯ろうに貼って出来上がり。午前・午後の部で個性あふれる 21 基の凧絵灯ろうが完成しました。作業後は、部屋を暗くしてろうそくと凧絵灯ろうに灯りを点けて、記念撮影。帰りには、上町すみれ会平山さん製作のハートや星形など花びらがついたかわいいうろうそくのプレゼントもありました。

2 月 13 日には、今回製作したろうそくと凧絵灯ろう(LED ライト使用)が点灯されます。自分が作った凧絵灯ろうがどこにあるか探してみるのも楽しいかもしれません。多彩なイベントや温かなまち灯りを楽しんでみてはいかがでしょうか。

今回の作業にあたり、事前準備や当日の手伝いにご協力して下さった能代凧保存会のみなさん、のしろ白神 NW の仲間(上町すみれ会・能代バイパス黒松友の会・能代市環境衛生課のみなさん)、ボランティア参加の小林さん、お疲れさまでした。

文：児玉 優子



能代市子ども館の浅野さんの話に興味津々。



凝固材を溶かした廃食用油をこぼさないよう、慎重にお玉をもってアルミカップに入れていきます。



能代凧保存会のみなさんの指導を受けながら、能代伝統の凧絵に色づけしていきます。おとなも子どもも真剣です。



完成した凧絵灯ろうと一緒に記念撮影。まち灯り当日は自分で作ったものを見つけに来てくださいね。